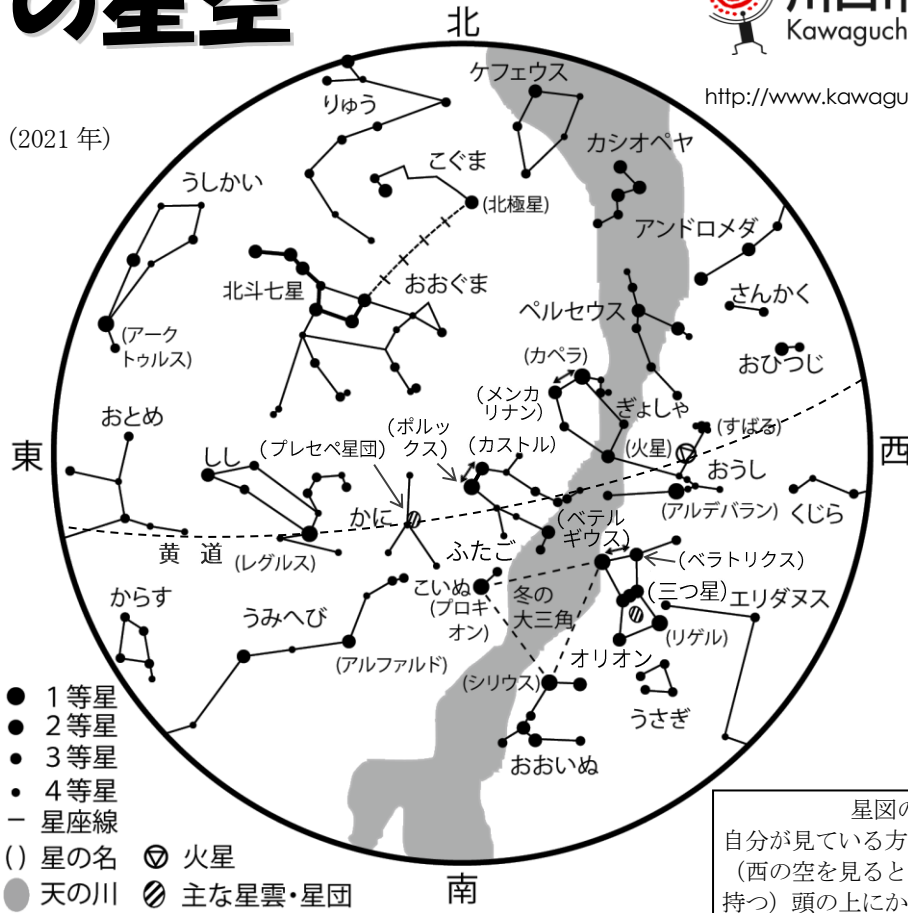


今月の星空

3月 (2021年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



星図の見方
自分が見ている方向を下にして、
(西の空を見るときは西を下にして
持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢 ● 下弦 6日、● 新月 13日、● 上弦 21日、○ 満月 29日

惑星情報

火星 夜のはじめ頃 西 (おうし座 1等) 木星 明け方 南東 (やぎ座 -2等) ※3月末以降

土星 明け方 南東 (やぎ座 1等) ※3月下旬以降

☆頭上に輝くひなまつり星

天頂付近には、ふたご座の2つの明るい星が並んでいます。ギリシャ神話に登場する最高神ゼウスとスパルタの王妃レダの間に生まれた双子の兄弟、カストルとポルックスの名が付けられた星です。カストルは2等星 (1.6等) で白色、ポルックスは1等星 (1.2等) で橙色と、見比べると明るさや色に違いがあります。日本では、ニボシ (2つの星) やカニノメ (蟹の目)、金星・銀星 (きんぼし・ぎんぼし) などと呼ばれてきました。また、ひなまつりの頃、20時台に2つの星は南中し、ほぼ真上に見えます。ひな人形のおだいりさま (男雛・女雛) が並ぶ様子で見立てて眺めてみましょう。

☆黄道十二星座の「かに座」が見やすい頃

ふたご座などの黄道十二星座は、太陽や惑星が通る黄道上に作られた重要な星座ですが、必ずしも目立つ星座とは限りません。例えば、星図のとおり、かに座はふたご座の隣にありますが、4等以下の暗い星しかないため、見つけるのが難しい星座です。その中心には美しい散開星団、プレセペ星団があります。空の暗いところでは肉眼でもぼんやりとした光芒に見えるため、ガリレオにより星団と観測されるまでは、死者の魂が集まる場所などと考えられていました。ポルックスとしし座の1等星レグルスの中間付近に双眼鏡を向けて、かに座の星や星団を観察してみましょう。

ワンポイント～カストルとポルックスはどれだけ目立つペアなのか～

ふたご座のように1等と2等 (以上) の星が並ぶペア (ポルックスーカストルの間隔は約4.5度*) は他にありません。これに近いペアは、オリオン座の「ベテルギウス (0.5等) - ベラトリクス (1.6等)」、及びぎょしゃ座の「カペラ (0.1等) - メンカリナン (1.9等)」で、間隔は共に約7.5度です (星図参照)。川口市からは見えませんが、みなみじゅうじ座には、直径約6度の円内に、1等星2つと2等星1つが集まっています。また、オリオン座の三つ星は、3つの2等星が約3度の範囲に並んでいます。

※天体の間隔や広がり天球 (仮想的な球面) 上に星が張り付いているとして、角度で表す。例) 満月の直径は約0.5度。